

みんなとつながれ戸笠っ子！ 夢と命をつなぐテレビ会議システムの活用



名古屋市立戸笠小学校 校長 三嶋 修彰
〒458-0011 名古屋市緑区相川三丁目60番
TEL 052-876-2294 FAX 052-876-9940
URL <http://www.togasa-e.nagoya-c.ed.jp>

事業のねらい

体育館での利用ができるテレビ会議システムを整備することにより、インターネットを利用して、児童が日本の遠隔地や外国とインタラクティブにつながる体験ができるようにします。そして、テレビ会議システムを活用した学習において、日頃の学習で身に付けた力を活用し、より主体的で、深い学びを展開することにより、グローバル化社会を生き抜く力を育みます。

事業の内容

- 校内のLANを体育館まで延長する工事を行うと共に、インターネットを利用した双方向通信用のスピーカー・マイクシステムを整備しました。
- 海外にいる教師とインターネット回線を通じて、双方向同時通話（スカイプを利用）することにより、外国の文化や特色についてリアルタイムで学びました。
- 国立長崎原爆死没者追悼平和記念館が行っているインターネットを利用した平和学習「ピースネット」に申し込み、テレビ会議システムで被爆者の方の生の声を聞いたり、意見を交わしたりしました。



テレビ会議を行うためのシステム



ベルギーの先生に質問をする児童



被爆者の話を聞く児童の様子

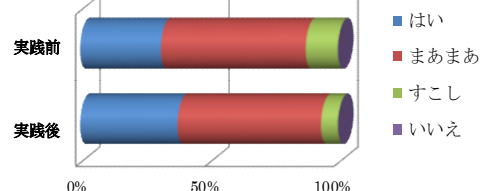
事業の成果

絆の大切さを知り、夢に向かって努力する児童が育っています

- 2年生が行ったベルギーとのテレビ会議では、昨年度の担任だった教師と9400kmの距離を隔てて会話をしました。ベルギーとの時差に驚いたり、先がとがったキャベツやウサギの肉がスーパーに売っていることを知ったりして、外国の文化に興味関心を高めていました。実践後には、91%の児童が「外国の人と仲良くなりたい」と考えるようになりました。
- ピースネットでは、右のように平和と命の大切さを学び、前向きに生きようという感想を書いた児童がたくさんいました。そして、夢や目標に向かって努力する児童が増えました。

原爆は、2度とあってはならないことだと思います。「戦争がないから平和なのか」という言葉に心を打たれました。私たちは、これからもっと「平和」という大きな課題に向き合っていきたいです。

夢や目標に向かって努力していますか



事業のまとめ

テレビ会議システムを活用したことにより、外国への関心を高めたり、命の絆を感じたりする児童が増えました。今後も、より多くの人とつながり、夢と命の絆を深める学習を続けていきます。